



2018.11
No.137

津宮小学校での赤ちゃん登校日の様子

平成29年度

決算認定

決算特別委員会を設置し、「江津市版総合戦略」に重点を置き編成した平成29年度予算の執行状況を審査

(委員長:山根兼三郎/副委員長:藤田厚/委員:議長・監査委員を除く全議員)

平成29年度 一般会計・特別会計の決算状況			水道事業会計の決算状況			
会計名		歳入総額	歳出総額		収入総額	支出総額
一般会計		156億7897万円	150億6027万円	収益的収支	9億4340万円	8億7623万円
特別会計	国民健康保険事業	35億5399万円	34億3717万円			
	国民健康保険診療所事業	286万円	285万円			
	後期高齢者医療事業	7億8494万円	7億7897万円			
	公共下水道事業	12億4274万円	12億2793万円			
	農業集落排水事業	2億3850万円	2億3846万円			
				資本的収支	2億9390万円	5億5287万円

地域コミュニティ活性化事業

1億1566万円

地域コミュニティ組織の、自ら考え取り組む「地域づくり計画」を支援。

委員質疑

問 評価は。

答 防災や収益、支え合いの事業などを通してまちづくり活動が始まりつつある。

認定こども園施設整備等補助事業

4億1897万円



三江線代替バス事業

1億1702万円

三江線廃止に伴い、公共交通の維持・確保。



バス回転場(川平町)

地域医療支援対策事業

2億8887万円

西部島根医療福祉センター、済生会江津総合病院が行う医師・看護師などの確保対策及び離職防止対策、また済生会に対し財政支援。

委員質疑

問 済生会の経営状態は。

答 平成29年度は赤字3億2550万円。

水道事業会計補助金

1億9046万円

水道事業会計の経営安定のため、一般会計から経費の一部を補助。

江津ひと・まちプラザ管理事業

5267万円

江津駅前の賑わいの拠点となる公共公益複合施設「江津ひと・まちプラザ パレットごうつ」の指定管理料。

委員質疑

問 利用人数は。

答 交流スペース53,660人、フリースペース16,714人。当初の計画を大きく上回っている。

市道志谷線道路改良工事

8917万円



通学路整備事業

9091万円

平成26年度から実施している「江津市通学路交通安全プログラム」による通学児童の安全確保事業。



塩田中通線側溝蓋設置工事

公園施設長寿命化事業

409万円

(設計委託料)



菰沢公園

議会から

来年度予算への要望

一般会計及び特別会計

1. 江津市版総合戦略

- 「江津ひと・まちプラザ」を核としたにぎわい創出と交流人口の拡大・商業の活性化
- 子育て支援策と教育施策の充実
- 企業誘致の促進や中小企業への支援と人材確保・人材育成
- 農林水産業の所得向上と活性化
- 市民の安全安心な暮らしのための空き家対策・住宅耐震化
- 地域コミュニティ事業による地域力向上
- 高齢者、障害者、女性が活躍できる環境づくり
- 持続可能な地域公共交通網の充実

2. 防災

3. 教育行政

4. 地域医療・介護予防・健康増進対策

5. 行財政

6. 国民健康保険事業

水道事業会計



「児童支援事業」「風の国施設維持管理事業」
「小中学校エアコン導入事業」など、
緊急を要するものを中心に編成

補正予算額 **8221**万円 (補正後総額152億4092万円)

風の国施設維持管理事業

3227万円

質問

問 昨年の方針変更への認識は。

答 運営方法を変更したが、結果として最終判断をすることになった。

問 どう責任を取っていくのか。

答 長谷地域を初めとして地域の活性化や雇用確保などに果たした効果は限りないものがある。責任は重く受け止めている。



小中学校エアコン導入事業

1077万円

質問

問 導入の見通しは。

答 来夏に間に合うようにとの気持ちはある。国の財源や動向を注視し、適切な時期に予算要求を行いたいと考えている。



児童支援事業

1653万円

障がい児福祉での、報酬単価が上がったこと、新規事業所の創設に伴う利用者数や利用日数の増加が見込まれるための事業費増加。

桜江コミュニティセンター水害対策工事

41万円

電気高圧計器移設修繕工事、1階分電盤幹線ブレーカー開閉器取付など。

波来浜川河川改修事業



350万円

氾濫の防止の改修を行うための概略設計業務委託料。

桜江中体育館屋根修繕

120万円

体育館の老朽化による、天井雨漏り対策の工事設計委託料。



委員会 ピックアップ



総務文教委員会

●視覚障害有権者への選挙公報の充実を求める意見書の提出

視覚障害有権者に適した媒体での選挙公報が配布されるよう法整備を進めることや選挙管理予算を確保すること、また、視覚障害有権者への選挙公報充実に関する啓発推進を国へ提出するよう求めるもの。

委員質疑

問 市に対して同様の相談要望はあったのか。

答 毎年、視覚障害者協会からの要望書の提出や相談があった。

建設厚生委員会

●地方ローカル線の維持・存続に関する意見書の提出

2000年に改正された「鉄道事業法」について、「路線の廃止」にあたっては「地元自治体の同意条項」を新設する法改正を求める意見書を国へ提出するよう求めるもの。

委員質疑

問 地元自治体の同意条項があることによって、鉄道事業者側が財政措置、地元負担を求めているのではないか。

答 今年4月から災害があった場合、国が修繕費用を負担する。地元の経済や生活の面でも、鉄道事業者が公共の企業としての責任も併せて考えていくという意味も含まれている。

●平成30年7月豪雨災害の被害調査(建設厚生委員会)

大きな被害を受けた(有)桜江町桑茶生産組合・(有)はんだ・(有)小田営農組合・(有)スプラウト島根4農業法人の被害状況現地調査を10月2日に行った。

「収穫直前の作物の被害は当然あったが、今回の災害は浸水による農業用機械類の被害が

大きかった。特に大型農業機械は電子部品が水に浸かってダメになったものがあり、更新せざるを得ない。

国の補助事業などで補助金が交付されるものもあるが、リースはその対象外になっている。」などの説明をうけた。



桑畑(桜江町大貫)



ごぼう畑(桜江町田津)

議決結果			坂手	植田	森川	坪内	鍛治	田中	多田	山根	森川	藤間	石橋	河野	藤田	田中	永岡	森脇
議案番号	件名	議決結果	洋介	好雄	和英	涼二	恵巳子	利徳	伸治	兼三郎	佳英	義明	孝義	正行	厚	直文	静馬	悦朗
市長提案	同意第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第7号	教育委員会委員の任命について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第5号	専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第6号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第7号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第8号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第9号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第10号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	平成30年度島根県江津市一般会計補正予算(第5号)を定めることについて (修正案 否決) ※1	//	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	平成30年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	平成30年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	平成30年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	平成30年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第44号	平成30年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第1号	平成29年度島根県江津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	認定第2号	平成29年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第3号	平成29年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第4号	平成29年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第5号	平成29年度島根県江津市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成29年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	平成29年度島根県江津市水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第45号	平成30年度島根県江津市一般会計補正予算(2号)を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情請願	陳情第1号	視覚障害有権者への選挙公報の充実を求める意見書の提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願第1号	地方ローカル線の維持・存続に関する意見書の提出について (請願に対しての賛否)	不採択	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●
議員提案	意見第1号	視覚障害有権者への選挙公報の充実を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決議第1号	学校へのエアコン設置についての決議について ※2	否決	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●

議長職は表決権なし

■ ※1 議案第39号に対する修正の動議について ※答弁は修正案を提案した議員によるものです

修正案の説明と質疑応答 補正予算案から、風の国を来年3月末まで営業継続させる事業費3227万円を減額するもの。9月末で営業終了すれば、財政負担を約1000万円軽減できることが提案理由。

- 問 修正案が可決されれば風の国は倒産する。従業員への処遇や債務処理をどう考えるのか。
- 問 風の国が倒産すれば、清算や売却に悪影響が生じるのではないかと。
- 答 給与補償や債務処理も含めても財政負担は少なくなるとの市執行部の答弁が前提にある。本市がすべきは風の国への税金投入ではなく、就業へのサポートと考える。
- 答 修正案は、風の国の営業を早期終了させ財政負担を軽くするもので、民間売却に反対するものではない。売却に必要な予算は改めて編成すべきと考える。

■ ※2 決議第1号について

決議内容 来年6月末までにすべての普通教室へエアコンを設置するため、今年度内の予算編成を求めるもの。

本会議 における 賛成・反対意見

請願第1号 | 地方ローカル線の維持・存続に関する意見書提出

不採択

反対 藤田 厚

請願の趣旨はわかるが、具体的に地元自治体の同意条項の新設を求めていることにより、沿線自治体の財政負担の点が懸念される。県議会では鉄道事業法の抜本的な見直しを視野に入れた検証を求めているが、ここまで意見を詰め込んだ内容には疑念が残る。地方の交通体系については、国の交通対策基本法の中で総合的に考える必要があると考え請願には反対。

賛成 森川 佳英

鉄道事業法では、鉄道事業者の届け出で路線が廃止できることとなっているが、目的として利用者の利便性保護と公共の福祉増進も定めている。江津市議会は3年前に、三江線を含めたローカル線を守るため、三江線存続の意見書を国へ送っている。三江線は廃止されたが、廃止には地元自治体の合意が必要との法改正すべきであり請願に賛成。

議案第39号 | 平成30年度一般会計補正予算及び修正案

原案可決

原案反対 森川 佳英

予算案には学校へのエアコン設置のための設計費が計上されており賛成すべきだが、これまでも効果の上がないコンサルやエビネラン舎などで無駄遣いがあった風の国へ、来年3月まで営業を継続する費用も計上されている。経営を立て直せない風の国は、早期に営業をやめるべきで、風の国への支出を削った修正案に賛成し、原案に反対。

原案賛成 田中 直文

予算原案は、小中学校のエアコン整備設計費、風の国施設管理事業など、必要なものである。対して修正案は、風の国の事業費を減額するが、これは風の国を倒産させ、施設を閉鎖することになる。旧桜江町が産業創出、雇用の場として整備した施設で、地域に大きく貢献してきた。今後は、民営化へのスムーズな移行、従業員への再就職など熟慮し、廃墟にするのではなく、再生の方向へ向かうようにすることが重要と考え原案に賛成し、修正案に反対。

認定第1号 | 平成29年度一般会計 決算

認定

反対 多田 伸治

中心市街地活性化や雇用創出など、総合戦略の成果では、明確な答弁がない・把握できていないものがいくつもあった。また、済生会の院内での意識改革は進まず、風の国では29年度の取り組みが経営のダメ押しになった。生活交通バスは市民ニーズに応えず、子育て世帯の経済的負担軽減は限定的で、新庁舎建設を進めながら、住宅耐震化は進んでおらず、決算としては認められないため反対。

賛成 田中 利徳

決算は総合戦略などの施策に重点を置いて、適切に予算執行している。JR三江線廃止に伴う、代替バスの運行も実施された。済生会病院への支援は、地域の中核医療を守るために必要と考える。市内全域で、まちづくりの核となる地域コミュニティも設立された。また、雇用創出による成果も見え始めており、認定することに賛成。

決議第1号 | 学校へのエアコン設置についての決議

否決

反対 河野 正行

エアコン設置には反対していない。今議会で市長は挨拶や委員会等の中で、エアコンの設置は国の動向を踏まえた上で、新年度予算での対応では、機材の生産体制で遅れる可能性があり補正を含めて前向きに検討すると答えている。市長の設置に向け努力をしようと発言している中であって、事務執行に水を差す行為をとるべきでないと考え、決議することには反対。

賛成 森川 佳英

危険な夏の暑さに対し、教室へのエアコン設置は緊急の課題であり、市民の願いでもある。市長は、国からの補助を待たずに今年度内の補正予算編成に言及しており、市議会はその後押しをすべき。エアコン設置を求める声を江津市議会からも上げ、世論で国からの補助を拡大する必要もある。来年6月末までに全ての普通教室にエアコンを設置させるために決議案に賛成。

一般質問

市議の

市の

Q & A



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見るができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

Q. 夏休みのプール開放のあり方への見解は。

A. 保護者が主体となり、学校の協力を得ながら開放しているが、保護者の負担があまりにも大きいようであれば、期間の短縮や開放の中止なども視野に入れながら、今後、学校とともに検討していきたい。

Q. 教育現場における異常な暑さへの対応状況は。

A. 小まめな水分補給の指導、健康観察の徹底のほか、エアコンが設置してある教室を授業や休憩中に使用している。経口補水液の常備・体育館への大型扇風機設置・野外活動時のミストシャワー使用など、各学校で様々な対応をとっている。

Q. 小中学校の普通教室へのエアコンの具体的な設置時期は

A. 来年の夏に間に合わせるため最善の努力をしたい



エアコン設置が急務の小学校普通教室

Q. 公共施設へ寄付型・多機能型自販機の設置を。

A. 現在、寄付型自販機は8台設置しており、要望があれば推進していきたい。災害型自販機は、豪雨災害を契機に設置も可能かどうか検討したい。



坪内 涼二

Q 川越地域コミュニティ交流センターの今後は

A 地域住民と協議を重ね、新たな施設の建設を検討する



藤田 厚

Q 川越地区は7集落あるが、各集落での一時避難所の状況は。

A 今回は被災しなかった神社など、避難所として位置づけて、使用させていただける場合、経費を支払うことも考慮した上で、地域と相談する。

Q 今回の豪雨災害を受けて、江の川治水の今後について、地元説明会は行われるか。

A 国土交通省に要望しており、10月もしくは11月に開催予定。

Q 無堤防となっている田津谷川の改修整備は。

A この度の災害を受けて、治水の重要性について国・県など関係機関へ訴え、これまでに増して整備推進・予算確保を強く要望して行く。



被災した川越地区(渡田)

Q 民間へ売却される風の国の経営難への行政の責任は

A 責任を痛感し、深くお詫びする



森川 佳英

Q 赤字続きの風の国について行政の責任は。

A 経営が厳しく、今年度末で営業を終了し、第三セクター(株)風の国も解散する。この場を借りて、深くお詫びする。

Q 昨年9月の「平日は団体予約客のみ」との経営方針の変更が、最終的な赤字の原因とされるが、どう考えるか。

A 赤字脱却を図ったが、思うようにいかなかった。重く受け止め、(株)風の国解散後は、民間経営を前提に譲渡先を探す。

Q 売却には、疑念が生じない情報公開が必要。具体的な公募内容はどうなるのか。

A 温泉入浴機能の継続と10年間の施設運営を条件とする予定で、内容を市議会に報告する。

風の国の来館者数と市からの支出

年度	宿泊者数	宿泊以外の入込客	合計	市からの支出
2008	1万403人	11万3105人	12万3588人	5724万円
2009	9789人	7万3626人	8万3415人	9437万円
2010	1万692人	7万792人	8万1484人	3199万円
2011	1万341人	6万3501人	7万3842人	3162万円
2012	1万678人	6万9554人	8万232人	1億1825万円
2013	1万136人	6万9750人	7万9886人	2156万円
2014	9405人	6万9751人	7万9156人	2705万円
2015	9953人	7万2352人	8万2305人	3555万円
2016	9067人	6万925人	6万9992人	3502万円
2017	7229人	5万42人	5万7271人	4335万円

市からの支出には、指定管理料や施設修繕費が含まれます。

Q 経営努力の不足から現状に至った。そこが改善されれば立て直すこともできたのでは。

A 経営努力の不足から現状に至った。そこが改善されれば立て直すこともできたのでは。民間化により新たな投資と雇用や地域経済の活性化などを期待し、民間公募を行う。

Q

7月豪雨災害の
早急な被災者支援を

A

国・県の災害支援策と本市独自の
支援で被災者の負担を軽減する



田中 直文

Q

災害救助・被災者生活再建支
援はどのような支援か。

A

住宅の応急修理や生活基盤
再建の支援、農作物・農地・
農業施設・店舗・事業所の被
害への支援がある。そのほか
に床下浸水被害を受けた住
宅への本市独自の支援など、
被災者へ寄り添った支援を
迅速に行う。

Q

災害前から進められていた
八戸川流域の河川整備計画
の実施見通しは。

A

現在、地形などの測量を行っ
ているが、災害での被害査定
の結果を踏まえ、早期事業化
が図られるよう、県へ強く要
望していく。

Q

7月豪雨災害で被災した八
戸川流域の復旧対策は。

A

今田地区・長尾地区・小田地
区・川戸地区・三田地区で
は、江の川の逆流により堤
防の破堤・越水があり、浸水
被害が発生。10月に国交省
の査定を受け復旧に着手す
る予定。



被災した小田地区

Q

江の川下流域の安全・安心に
資する浜原ダムの管理を

A

江の川流域全体で今後のあり
方を検討することが大切



石橋 孝義

Q

中国電力による浜原ダムの
湖底堆積土の除去は適切か。

A

取水機能・有効貯水容量の確
保などを目的に、年度毎に浚
渫（しゅんせつ）し、適切に
維持管理されている。

Q

過去のデータを適正管理して
洪水被害を予想し、下流域の
安全・安心に活用できないか。

A

浜原ダムは治水ダムではな
い。無堤防地区の解消が安
全・安心につながる。

Q

中国電力の力を借り、データ
を活用した放流調整を行い、
洪水防止に役立てられないか。

A

放流のあり方見直しには意
義がある。西日本豪雨でダム
の放流が問題となっており、
県や中国電力と検討するこ
とは大切と考える。

【高齢者の交通対策】

Q

高齢者や運転免許証返納者
への利便確保の助成制度を。

A

交通空白地域解消・高齢者の
交通対策へ地域と協議して
進めていきたい。



浜原ダム

Q

今後の江津市における医療施策は

A

救急医療や周産期医療、地域の医療の確保が必要



坂手 洋介

A.Q.

救急外来の対応は。

救急外来の受診について、小児科に限らず専門医が不在の診療科では、浜田医療センターへの紹介など必要な場合もあるため、事前に電話による確認をしてもらいたい。

【道路の安心と安全】

A.Q.

交通安全対策は。

現在行っている取り組みを引き続き推進することはもちろんだが、国土交通省が中心となって生活道路対策エリアの登録を推進しており、本市でも進めていく。

A.Q.

通学路の防犯対策を。

登下校防犯プランに基づき、通学路などでの防犯のための緊急合同点検の実施を



津宮小児童の通学風景

する予定。各学校に通学路沿いでの空き家など、危険箇所の把握・点検を依頼している。

Q

安心安全なまちづくりは

A

災害に強いまちづくりを推進する

A.Q.

災害時の避難勧告、避難指示の伝達方法は。

避難の伝達方法は、防災行政無線、防災メールを基本に、フェイスブックへの投稿、いわみケーブルテレビ、「Lアラート」(災害情報共有システム)などへの情報提供によるマスコミからの情報伝達ルートも利用している。

A.Q.

避難行動要支援者名簿の作成を。

災害対策支援法に基づき作成するもので、今年度も最新の情報から作成している。作成した名簿は、要支援者の同意を得て、消防分団や民生委員などに提供している。



田中 利徳

【学力向上について】

全国学力・学習状況調査の結果は。

A.

小学校・中学校とも全教科で県平均・全国平均を下回った。県・全国平均を上回る学校も数校あるなど、学校によって極端なばらつきがあり、平均としてとらえにくい部分もあると感じている。

小学校	6年生	市内7校	183名	
調査種別	江津市	島根県	全 国	
国語A	67	68	70.7	
国語B	51	55	54.7	
算数A	58	61	63.5	
算数B	44	49	51.5	
理 科	55	58	60.3	
中学校	3年生	市内4校	184名	
調査種別	江津市	島根県	全 国	
国語A	74	76	76.1	
国語B	59	61	61.2	
算数A	62	64	66.1	
算数B	41	45	46.9	
理 科	63	66	66.1	

Q

7月豪雨で被害を受けた
農業の早期復興を

A

きめ細やかな取り組みを通じ、
一日も早い経営再建に努める



山根 兼三郎

Q. 農業分野での災害からの復興への取り組みを。

A. 農業者の営農意欲を保つことが重要。これまでの災害支援制度に加え、農業用機械などへの支援制度を十分に活用し、各農業者にあつた支援策が的確に実施できるようにJAなどの関連団体とも連携し、相談会を行う。

Q. 農業の担い手確保対策の充実を。

A. 新規就農者は平成27年度で16人、平成28年度で15人、平成29年度で11人となっている。自営農業者本人や雇用先となる農業法人へのソフト・ハード両面での支援や、各地で行われる就農相談会に参加し、地道な相談対応している。

【農業の担い手対策】

A.Q. 市内の農業の現状は。

この5年間で農業就労人口は減少し、高齢化率は上昇している。地域資源を活用した高付加価値な農業を展開し、農業者の所得向上が課題となっている。



島根米

Q

本市の受動喫煙防止対策の現状は

A

市庁舎などは建物内禁煙・
小中学校全校敷地内禁煙



鍛治 恵巳子

Q. 飲食店・理美容室・コンビニエンスストア・事業所・観光地での受動喫煙対策の現状は。

A. 現在、市内で禁煙実施登録済みなのは飲食店で16店舗、理美容室で3店舗。コンビニエンスストアやその他の事業所については状況を把握していない。

A.Q. 新庁舎での対応は。

法の趣旨に沿って粛々と対応する。たばこ税が財源となっていることもあり、総合的に勘案しなければならぬ。

Q. 子育て期の喫煙者への禁煙サポートを。

A. 妊娠中の母親の喫煙率は1・4%、4カ月児健診では3・8%、1歳6カ月児健診では

4・1%、3歳児健診では8・5%と、子供が成長するにつれ喫煙率は上昇。妊娠中の母親の喫煙率ゼロを達成するため、母子手帳交付時や妊婦の訪問・赤ちゃん訪問・各種健診の際に、喫煙者には喫煙による乳幼児突然死症候群などの子どもへの健康被害を説明し、継続して指導する。



敷地内禁煙の
浅利地域コミュニティ交流センター

Q

学校へのエアコン設置に向け、今年度内の予算化を

A

最善の努力をする

Q

一学期で熱中症やその疑いのある児童・生徒がどれくらいいたか。

A

11校のうち4校で、暑さで体調を崩して保健室を利用した子どもが1人ずついた。また、別の4校では毎日1人または2〜3人が保健室を利用した。

Q

危険な暑さのなかに子どもを放置できない。エアコン設置の設計費が予算計上されたが、設置工事費の計上は来年度当初予算で、来夏に設置が間に合わない可能性もある。来夏に間に合わせるため、今年度内の予算化を。

A

教育委員会としては、間に合わせたいが、財源の問題があり、国の動向を見ながら、適切な時期に予算要求する。



多田 伸治

Q

年末までに予算化し、冬休み・春休みに設置しないと、間に合わなくなる。国の動向を待っていて間に合うか。

A

設計・設置の発注の分割や、工事が学校の休みにからならない場合に、学校と協議して工事中は空き教室へ移動して授業を行うなど、最善の努力をする。

市内小中学校の普通教室

	部屋数		部屋数
郷田小	8	江津中	10
渡津小	9	江東中	6
江津東小	11	青陵中	11
川波小	8	桜江中	4
津宮小	16		
高角小	14		
桜江小	8	計 105 教室	

※部屋数には特別支援教室も含まれます。

Q

今回の7月災害での特徴は

A

これまでの災害に比べ、江の川の増水が非常に速かった

Q

河川法には洪水調整のための指示があり、昭和41年に建設省が浜原ダムを「洪水調整ができるダム」としている。浜原ダムの災害対応への認識は。

A

国交省・中国電力へ県と江の川流域自治体で、災害の検証を申し入れている。今後、議会と一緒に取り組みたい。

Q

災害対策基本法の定める避難行動支援者の名簿とは。

A

名簿は災害時の円滑で迅速な避難のため、避難が困難な方を把握し、安否確認・避難支援の基礎となるもの。

Q

災害時の名簿の運用と自主防災組織との連携は。

A

自主防災組織による避難行動支援を支援していく。

【通学路の安全対策】

Q. ブロック塀や空き家など、通学路での安全対策は。

A

通学路沿いの空き家対策を含め、道路管理者・住宅管理部署と連携を図り、通学路の安全確保に努める。



浜原ダム



森川 和英

Q

学校教育・人間力向上教育の
取り組み状況は

A

今後も効果的な教育を行なう

Q. 集団生活になじめない児童・生徒への対応は。

A. 子育て支援課・保育所・こども園で連携し、小学校生活になじめるよう支援している。学校教育課でも、支援の必要な児童・生徒への理解と支援について、先生の研修を行っている。平成19年度より特別支援教育支援員を配置し、児童・生徒への個別の対応もしている。

Q. 学力向上で特に力を入れている取り組みは。

A. 授業の質の向上・家庭学習の充実・学校マネジメントの強化に沿い、各学校の「学力サイクルプラン」による学力育成に対し、指導・助言している。



藤間 義明

A.Q. 体力向上の取り組みは。マラソンや縄跳びなど、各学校で取り組んでいる。

Q. 事業所での人間力向上教育の必要性は。

A. 5S活動など、本市はいち早く従業員教育に取り組んでおり、今後も市内企業に対し、人材教育への支援を進める。

5S活動とは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけを行うことでムダをなくし、業績向上につながる活動のこと。



津宮小学校運動会

Q

災害時の早期避難への課題は

A

地域に潜むリスクを認識し、防災意識を高める必要がある

Q. 浸水・土砂崩壊ハザードマップの整備状況は。

A. 内容の更新が必要。県のデータがそろい次第取りかかる。

A.Q. 安全な避難に役立つマップを。災害別の避難所を明示し、地域別の避難ルートマップの作成も有効と考える。

【消費生活センター】

Q. 現状での問題と課題は。

A. 総務課で対応しているが、複雑な相談に苦慮しており、スタッフを1人増員して充実させる。

A.Q. 消費生活センター新設を。相談件数や内容を把握した上で設置に向けて検討したい。



植田 好雄

【快適な教室の整備】

A.Q. エアコン設置の財源は。有利な起債の活用など、財政負担の軽減を図りたい。

Q. 防衛費を削減してエアコン設置に回すよう国への要望を。折に触れ要望活動は行う。



氾濫危険水位まで上昇した江の川

意見書を提出しました

今定例会最終日に全会一致で可決した下記意見書を国へ提出しました。

視覚障害有権者への選挙公報の充実を求める意見書

1. 視覚障害有権者にも等しく選挙公報が届くよう、点字・音声・拡大文字など当事者に適した媒体での選挙公報が保証されるよう公職選挙法などの法整備を進めること。
2. 視覚障害有権者に適した選挙公報を保証するために必要な選挙管理予算を確保すること。
3. 国民の選挙権は平等であり、視覚障害有権者の選挙権も平等に保証されるべく、視覚障害有権者への選挙公報充実に関する啓発を推進すること。

議会活動レポート

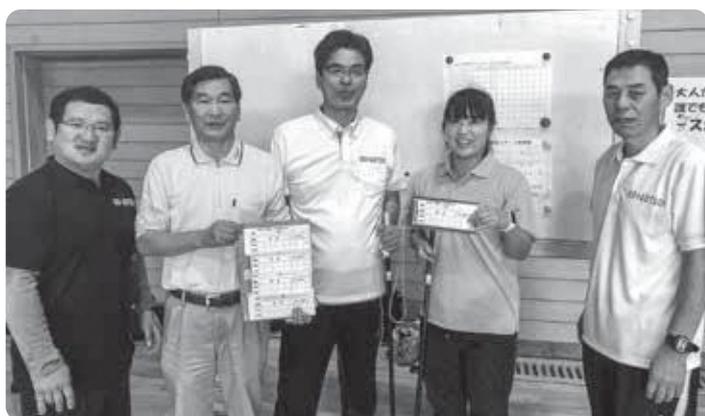


江の川祭 パレードに参加 (市議会議員クラブ)

8月16日、江津市最大のイベント江の川祭が開催され、改選後初のメンバーで参加しました。

議会への関心を 高める広報 (市議会だより編集特別委員会)

8月20日、島根県町村議会議長会主催の広報研修会に参加しました。講師に広報アナリストの吉村 潔氏を招き、各市町村の議会だよりを個別にチェックしていただきました。



市民スポーツフェスタに 参加 (スポーツ振興議員連盟)

10月8日 市民スポーツフェスタでのニュースポーツ「スポーツ吹き矢」に5人、1チームで参加しました。楽しい時間を過ごしました。

未来を語る会

日時	11/16(金) 19:00~20:30	11/17(土) 18:00~19:30	11/18(日) 18:00~19:30	11/21(水) 12:00~12:50
場所	江津商工会議所 3階大会議室	川戸地域コミュニティ 交流センター	二宮地域コミュニティ 交流センター	江津工業高校 江工会館2階
対象	青年経済団体・一般	地域住民	地域住民	学生限定
内容	1. 議会の説明 2. 意見交換 (グループワーク)	1. 議会報告 2. 意見交換 [テーマ] 防災・まちづくり	1. 議会報告 2. 意見交換 [テーマ] まちづくり	1. 選管説明 2. 議会の説明 2. 意見交換 (グループワーク)

次回12月定例会

請願・陳情締切／11月27日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28 議会運営 委員会 9:30~	29 全員協議会 9:30~	30	12/1
2	3	4 議会運営 委員会 15:00~	5	6 本会議 10:00~	7 議員連絡会 9:30~	8
9	10	11 本会議 (一般質問) 10:00~	12 本会議 (一般質問) 10:00~	13 総務文教 委員会 9:30~	14 建設厚生 委員会 9:30~	15
16	17 予算委員会 9:30~	18 情報交換会 9:30~	19	20 本会議 14:00~	21	22

※開始時間は予定です。

議会を傍聴しよう
江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁3階の議会事務局までお越しください。

議会へ参加しよう
議会に対して陳情などを提出することができません。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

■編集・発行責任者

議長 森脇 悦朗

■市議会だより編集特別委員会

委員長 鍛冶 恵巳子
副委員長 坂手 洋介
委員 植田 好雄
委員 多田 伸治
委員 山根 兼三郎
委員 河野 正行
委員 永岡 静馬

市議会だより
ホームページは
こちらから



7・8・9月と立て続けに大雨に見舞われました。被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。復旧・復興もまだ終わっていません。早く皆様がいつもの生活を取り戻せるよう祈っております。
市議会だよりの表紙の題字は市内中学校の美術部にお問い合わせいたします。今回は青陵中学校美術部員に描いていただきました。
生徒さんの趣向を凝らしたデザインです。市民の皆様により親しみを持っていただけたらと思います。
(坂手 洋介)

編集後記